

トップアスリートが伝授！ 大崎中学校で陸上教室開催

11月11日（水）、大崎中学校において、日本トップクラスの実績を持つアスリートらによる陸上教室が中学2年生を対象に開催されました。

参加したのは、十種競技日本記録保持者の右代啓祐選手（写真右上）や9月に開催された日本選手権混成競技の同種目で優勝した中村明彦選手（写真右下）、棒高跳び、三段跳び、走り幅跳びの選手ら10名で、8班に分かれ生徒らに走る際の正しいフォームや上半身の使い方などを伝授しました。

最後には、アスリートを含めた班対抗リレーが行われ、生徒らはアスリートとの交流をとおり陸上の素晴らしさを学びました。



町慰霊塔前で追悼式を挙 追悼の意を捧げました



11月13日（金）、町慰霊塔（都萬神社）において、『大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式』が挙行されました。

追悼式では、戦争で家族を亡くされた遺族の方々や消防殉職者の遺族の方々など約60人が出席され故人を偲び、大崎光吟吟道会の皆さんによる献詠が行われました。

遺族会副会長の諸木逸郎さんは追悼の言葉のなかで、「ご英霊の無念の死を豊かなこの時代に孫子にどう伝えるか、風化が心配されています」と述べられました。

『税』の大切さを学びました 小学生を対象に租税教室を開催



11月6日（金）、町税務課が税金の大切さを学んでほしいと、持留小学校の5・6年生を対象に租税教室を開催しました。

この租税教室は、町内小学校を対象に毎年行っています。

授業では、税の種類や使い道についてのクイズやDVD視聴などを行い、税金の大切さを伝えました。

授業を担当した橋口主事は「子どもたちの税金に対する理解を深めることができたと感じました。税金について楽しく伝えていけるような授業をしたいと思います」と述べました。